

トヨタ SRS 付車用取説

539・540・541・542・539S・540S・542S・543S 用

品番により内容物が異なります。

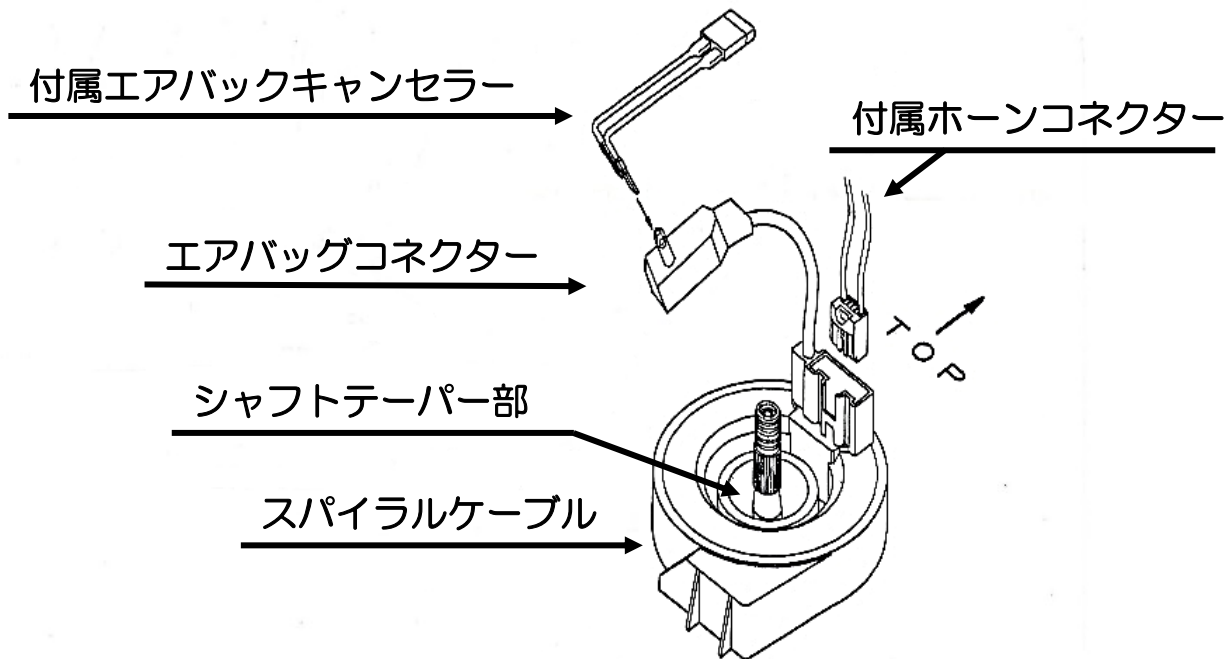
この度は弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

装着の前に本書を必ずお読みいただき内容を理解した上でご使用ください。

- 本製品はスポーツタイプのステアリングに交換するためのアダプターです。それ以外の用途に使用しないで下さい。
- 本製品はMOMO社製ステアリングホイールまたはナルディ社製ステアリングホイールの取り付けに対応しておりますが、それ以外のメーカーでも取り付け部の形状が同じであれば取り付けできる場合があります。詳しくは装着するステアリングメーカーにご確認ください。
- ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識、技術をお持ちの専門店で作業をご依頼ください。
- 作業時は保護メガネ、グローブ等の安全具を身に着け、怪我に充分注意し作業を行ってください。
- 事故等、強い衝撃時に本製品により運転者に損傷を及ぼす危険があります。充分ご注意ください。
- 誤った取り付けや取り扱いによる車両等の破損、又は事故等を起こされた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 純正ステアリングの取り外しは本取説には記載しておりません。自動車メーカーの整備解説に基づいて行ってください。
- 作業は車両を平坦な場所に置き、ステアリングを直進状態にして、必ずバッテリー端子を外して10分以上経過してから作業を始めてください。
- バッテリーターミナルを外した際にオーディオやパワーウィンドなどの設定がリセットされますので事前に復元方法をお調べください。
- スパイラルケーブルは純正ステアリングを外した状態から絶対に回転させないでください。センター位置をずらしてボスを装着するとスパイラルケーブルを破損する事があります。
- 本取説により正確に配線を行っても、車両個体差や取り付け状態等により警告灯が消灯しない場合があります。ご了承ください。又、警告灯が消灯した場合でもステアリングエアバッグ以外のエアバッグ作動は保証できません。(純正のエアバッグモジュールに戻しても警告灯が消灯しない場合はディーラーの診断機をかけないと消灯出来ない場合があります。)
- 純正ステアリング上にあるホーン以外の各種スイッチは使用できなくなります。
- 取り外したステアリングとエアバッグは大切に保管して下さい。何らかの理由で純正ステアリングに戻す際に必要になります。紛失した場合の部品代や工賃の保証は一切できません。
- 運転席エアバッグを取り外すことにより、任意保険の契約内容に変更が必要になる場合があります。加入の保険会社にお問い合わせください。
- 別売りの542SSTS及び延長ハーネスキットを取り付けする場合はそちらの取り説もお読みください。

取り付け説明

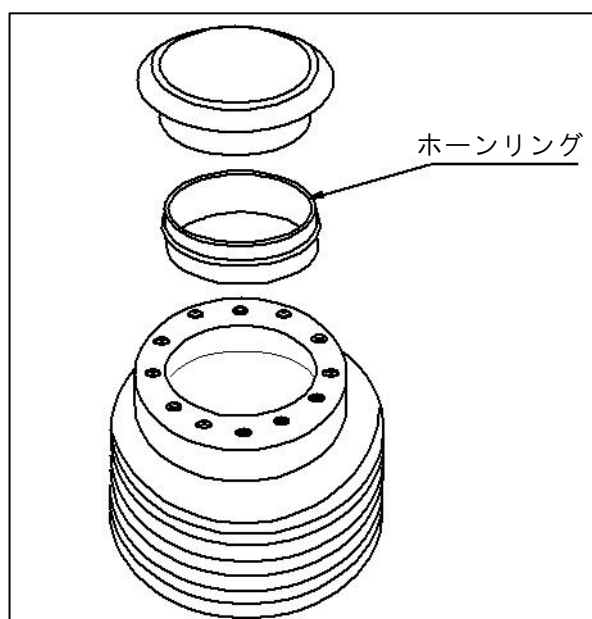
- ① 純正ステアリングを取り外します。ステアリングの取り外しは整備解説書を基に行ってください。
 - ② エアバッグに接続されていた車両側コネクタに付属のエアバックキャンセラー（極性無し）を差し込んで抜けないように絶縁テープ等で固定します。
 - ③ 付属のホーンコネクタのうち車両に合うものを接続します。
稀に付属カプラーと形状もしくは、配線位置が合わない車両が存在します。
その場合付属のオレンジ色の配線を純正ホーン配線に接続してご使用ください。
- ※付属のホーンコネクタから複数本の配線がでていますが、複数の配線のうち**1本のみ**を使用します。どこに電源が来ているかは純正ステアリングのホーンコネクタを参照してください。**余った配線は使用しません**ので絶縁処理をして邪魔にならないよう収納してください。
- 余った配線はアース(-)ではありません。様々な車種に対応できるようにする為、複数本出ております。**



- ④ ボスを装着する前に**車両側シャフトテーパ部をパーツクリーナーなどで必ず脱脂を行ってください。脱脂を行わずにボスを締め付けされると、規定トルクで締めたとしてもボスが割れてしまう場合があります。**
- ⑤ ボスとボスカバーを分離し、品番539はボスのトップマーク（▲）を真上にしてホーン配線などをボス内部に引き込みつつステアリングシャフトに差し込みます。
540、541、542は（▲）ではなく**赤いマークを真上にして**差し込みます。
ショートボスの場合、丸いくぼみ（・）がトップマークになります。
※スパイラルケーブルを回転させた状態で取り付けすると車両側の部品を壊してしまいます。
※トップ位置を間違えて取り付けて走行した場合、ABS やトラクションコントロールの警告灯が点灯する可能性があります。警告灯が点灯した場合は正しいトップ位置で装着されているかを確認してください。

裏面に続く。

- ⑥ エアバック配線はボス内部に引き込むかボスの周りに巻き付けてテープ類で固定し、ボスカバーをかぶせます。カバー下部がスパイラルケーブルに当たってしまう場合はカッター等で切り取るなどして干渉を避けてください。このときケガ等には充分注意してください。
- ⑦ ボスのトップ位置が良ければボスを付属のナットで締め付けます。
ボスのトップ位置を左右に 1 山ずらしてもセンターが出ない場合は本締め付け後、足回りの調整でステアリングセンターを出して下さい。
ステアリングシャフトの突き出しが短く、付属ナットセットで締め付けできない場合は純正ナットのみで締め付けをしてください。
- ※締め付けトルクは $25 \sim 30 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($2.5 \sim 3.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)。
締め付けの際は必ずトルクレンチを使用してください。**
- ⑧ ラフィックスⅡもしくは GTC を取付けされる方は、ここからラフィックスⅡ及び GTC の取り付けに進んでください。
- ⑨ 必要に応じてホーンリングを装着し（下図参照）社外ステアリングを付属のネジで取り付けします。締め付けトルクは $676 \text{ N} \cdot \text{cm}$ です。
ホーンボタンにホーン配線を接続し、ボスに取り付けします。
- ※ショートボスにはホーンリングは付属していません。（ラフィックスシリーズに付属しているカットリングをご使用ください。）**
- 2 極タイプのホーンボタンはアース線が必要になりますので必要に応じて配線を追加、加工してください。
- ⑩ バッテリーターミナルを接続します。



株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email : support@worksbell.co.jp

URL : <http://www.worksbell.co.jp>